



子供と家族・若者応援団表彰 内閣府特命担当大臣表彰を受賞しました

この度、秋田大学は秋田県の推薦を受け令和元年度子供と家族・若者応援団表彰【子育て・家族支援部門】内閣府特命担当大臣表彰を受賞しました。

この表彰は、子供・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動において顕著な功績があった企業、団体又は個人を顕彰し、もって、子供・若者の健やかな成長に資することを目的としたものです。

本学は育児における相談窓口「コンシェルジュ・デスク」の運営や、育児やワーク・ライフ・バランスに関する意見交換等の実施など、多様な手法で子育て中の教職員への支援を行っている点や、県内の高等教育機関などと「女性研究者支援コンソーシアムあきた」を形成し、仕事と生活を両立する女性研究者をロールモデルとして紹介し、次世代の女性研究者の育成を支援している点が評価されました。

令和元年11月21日に内閣府講堂で行われた表彰式には近藤理事が出席し、衛藤晟一内閣府特命担当大臣から表彰状を受領しました。

また、同年12月25日に山本学長が佐竹敬久秋田県知事を表敬訪問し、お礼と報告を行いました。山本学長が、「この度の受賞を糧に、今後も教職員の仕事と子育てが両立できる職場環境の充実や秋田県の女性研究者のさらなる飛躍、次世代育成に貢献できるよう努める。」と抱負を述べると、佐竹知事より「大学の取組は波及効果が大きい。今後もぜひ取組を進めてほしい。」との激励をいただきました。

本学では、今後も引き続き教職員のワーク・ライフ・バランスの充実、次世代女性研究者の育成のための取組みを推進していきます。



(写真は内閣府より提供 近藤理事:前列右より二人目)



「令和元年度女性研究者支援コンソーシアムあきた賞」表彰式を行いました

令和元年12月24日(火)13:30より秋田大学において、「令和元年度女性研究者支援コンソーシアムあきた賞」表彰式を行いました。

この賞は、本コンソーシアムを構成する各機関の女性研究者の研究活動に対するモチベーションを高めることを目的に、優れた成果や取組を顕彰する制度として、平成26年度に創設されました。

選考の結果、今年度は若手研究者学術研究部門に3名が表彰されました。

表彰式では、本コンソーシアム会長の山本秋田大学長から、「この表彰が『女性研究者支援コンソーシアムあきた』参画機関に所属する女性研究者の研究意欲向上と今後の男女共同参画推進に資することを期待する」と挨拶があり、被表彰者一人ひとりに表彰状と副賞が授与され、引き続き受賞記念講演が行われました。



＜受賞記念撮影＞

前列左より秋田県立大学 細川氏／山本秋田大学長／秋田工業高等専門学校 齊藤氏／秋田大学 前田氏
後列左より近藤秋田大学理事／小林秋田県立大学長／赤上秋田県産業技術センター所長／山名秋田大学学長補佐

受賞者を紹介します



◆秋田県立大学
生物資源科学部
特任助教
細川 奈々枝 氏

森林土壌中の窒素とリン動態の研究：土壌化学性の影響と季節変化



◆秋田工業高等
専門学校
創造システム工学科
准教授
齊藤 亜由子 氏

ウェアラブルセンサを用いた人間の動作計測 他



◆秋田大学大学院
医学系研究科
講師
前田 恵理 氏

わが国におけるフレイル予防の推進に向けたEVIDENSの構築

北東北国立3大学連携推進会議連携協議会男女共同参画シンポジウム参加



パネルディスカッションで取組の成果報告を行う近藤理事

令和元年9月26日(木)岩手大学において、令和元年度北東北国立3大学連携推進会議連携協議会男女共同参画シンポジウムが開催されました。シンポジウム10周年を機に、第1回のテーマ「今あらためて女性研究者支援から多様な人材が活かされる大学へ」が掲げられました。

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授 江原由美子氏の基調講演「多様な人材が活かされる大学へー女性研究者支援からの展開」に続き、各大学の取組紹介があり、本学からは山名裕子学長補佐が紹介を行いました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、はじめに各大学からこれまでの10年間の取組の成果報告があり、本学からは近藤理事が報告を行いました。その後、今後の取組や、3大学の連携のあり方等について意見交換がされました。

本道地区でコロコニトーキングを開催しました

令和2年1月22日(水)に、医学部第一会議室において、「理想的なワークライフバランスの実現に向けて」をテーマに令和元年度コロコニトーキングを開催しました。

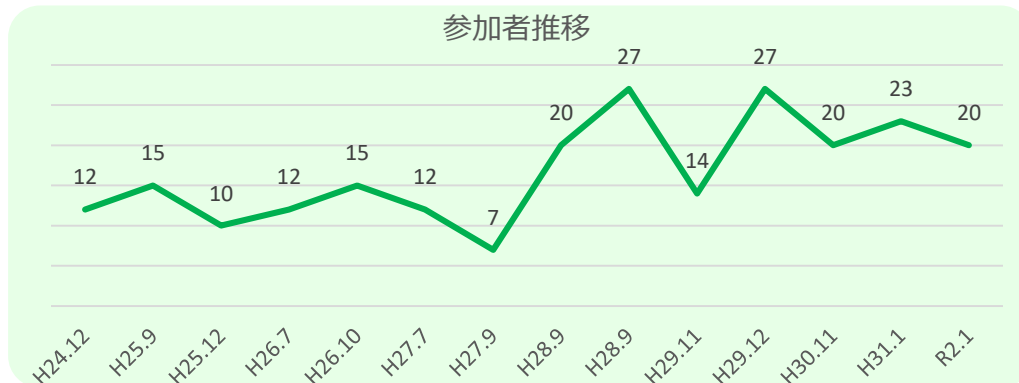
近藤理事の開会の挨拶に続き、大川人事課長が今年度新設された休暇・休業制度等について話題提供を行った後、フリートーキングを行いました。

話題提供で紹介された「半日単位の年次休暇」は昨年度のコロコニトーキングで参加者から出された要望を基に新設されたものですが、今回のフリートーキングでも、日頃抱いていた疑問や制度の利用の仕方など、活発に意見が交わされました。



<<<終了後のアンケートより>>>

- 現場の状況を鑑みながら、柔軟な運用が可能となればと願う。そのためには、本日のような対話の場が必要と思われる。
- 初めて参加しましたが、いろいろ聞いてよかったです。今後に活かしていきたいと思います。
- いろいろな休みが取れるのは有り難いが、年次休暇5日が取得しにくい状況につながっているかもしれないと思った。
- フリートークではあるが、ある程度テーマが決まっていれば、前もって提示してもらった方が考えやすいかもしれない。



これまでのべ

234名に

ご参加いただきました。参加者のご意見から新しい制度ができています。是非あなたのご意見をコロコニトーキングでご提案ください！

半日単位の年次有給休暇が取得できるようになりました

労働基準法の改正により、平成31年4月から、年5日の年次有給休暇の確実な取得が義務づけられました。年次有給休暇の取得については、昨年度のコロコニトーキングで話題提供した際に、「丸々1日の年次有給休暇の取得は難しいので、半日単位の年次有給休暇が取得できると助かる。」とのご意見をいただき、今年度4月から、半日単位の年次有給休暇が取得できるようになりました。

なお、勤務時間によっては半日単位の年次有給休暇が取得できない場合がありますので、ご不明な場合は所属の総務・人事担当にお問い合わせください。



コンシェルジュ・デスク カウンセラー相談を実施しています



何かお悩みを抱えていらっしゃいませんか？業務や日常生活での不安や悩み等を専門のカウンセラーに無料で相談することができます。本学の教職員であれば、どなたでもご利用いただけます。相談は予約制となっておりますので、希望される方は、当推進室コンシェルジュ・デスクまでご連絡ください。

【相談日時】毎月 第1・第3 月曜日 15:00~16:00

【相談予約】男女共同参画推進室コンシェルジュ・デスク ☎018-889-3183

coloconi@jimu.akita-u.ac.jp

コロコニホームページからもご予約いただけます。

配偶者同行休業制度について

外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にするための休業制度「配偶者同行休業制度」が新設されました。この制度の概要は下記のとおりです。

休業の対象となる 配偶者が外国に滞在する事由

- 外国での勤務（出張、業務上の留学等を含む。）
- 事業の経営など個人が外国で行う職業上の活動
- 外国の大学等における修学
- 上記に掲げるもののほか、これらに準ずる事由として学長が特に認めたもの

（注）いずれの事由でも、6月以上にわたり継続することが見込まれるものであることが必要

休業の対象者

- 常勤職員（任期付き職員を除く）

休業の期間

- 3年を超えない期間

休業の延長

- 原則として1回延長可。
（期間は当初の休業期間と合わせて3年を超えない範囲内）

身分と給与

- 職員の身分を保有するが無給

休業の申請

- 配偶者同行休業承認請求書により、配偶者同行休業を始めようとする1月前までに行う
- 各所属の総務担当、人事担当が窓口

申請書は学内限定サイトAu-cisの職員申請ガイドからダウンロードできます



病児・病後児保育室「ことりのおへや」ご利用者の声

学内保育園（千秋保育園）のお隣に、秋田大学の教職員が利用できる病児・病後児保育室「ことりのおへや」があります。子どもが病気や病後で普段通園（所）している保育園や幼稚園などに登園（所）できない場合に、看護師・保育士が家庭に準じた環境の中で、看護・保育してくれます。利用には、事前登録と医師の診断が必要となります。今回は、「ことりのおへや」をご利用された方の声を紹介します。

子どもの一日の様子をしっかりと観察して、どのように対応したか等、細かく報告して頂き有難かったです。子どもを安心してあずけられる場所であると感じました。
更にスタッフの方々も丁寧に対応していただき本当に感謝しています。ありがとうございます。

咳・鼻水がひどかったのですが、丁寧にみていただき、ありがとうございました。

初めての病児保育の利用で心配していましたが、職員の皆さんとても優しく、おむかえに行った時に子どもがノリノリで遊んでいる姿を見て安心しました。その日の生活も細やかにお伝えいただき安心してました。またぜひ利用させていただきたいと思います。

子どもが初めて熱を出し心配の中、本当は一緒にいてあげたいけど仕事は休めない。そんな中、お世話になった「ことりのおへや」さんでしたが、優しく迎えてくださった先生と看護師さんの笑顔のおかげで不安が和らぎました。子どもも先生と看護師さんに笑顔を見せており、本当にお願ひしてよかったなと思ひました。ありがとうございました。



編集後記

今年度は国立研究開発法人科学技術振興機構の「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に本学の「あきた理系プロジェクト」が採択されたこともあり、非常にあわただしい一年でしたが、多くの方にご協力いただいたおかげで、様々な取組を行うことができました。誠にありがとうございました。来年度も引き続き皆様の支援につながる取組を企画、実施して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



発行：国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
電話：018-889-2260
<https://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>

